

全国障害者スポーツ大会が障害者スポーツへの 認知度や意識に及ぼす影響

和久田佳代 石塚 和重

聖隷クリストファー大学

Effects that National Sports Events of the Challenged Persons have
on the people's Awareness and Recognition of Significance of the
Challenged Person's Sports

Kayo WAKUDA, Kazushige ISHIZUKA

Seirei Christopher College

キーワード：全国障害者スポーツ大会 障害者スポーツ 認知度

I はじめに

日本における障害者スポーツは、1964年パラリンピック東京大会開催以降、少しずつ盛んになってきた。そして、1998年長野冬季パラリンピックを経て、パラリンピックという名称や障害者スポーツへの理解が広がってきている。しかし、まだまだ障害者スポーツに関する一般市民の認知度は低いのが現状である。¹⁾

2003年11月、静岡県において第3回全国障害者スポーツ大会が開催された。この大会は、オリンピックの後にパラリンピックがあるのと同様に、国民体育大会の開催県で開催され、障害者スポーツの国内最大級の大会である。静岡県内で開催されたこの大会を契機として、障害者スポーツへの理解が広がることが望まれる。

本調査は、全国障害者スポーツ大会の開催により障害者スポーツへの認知度や興味がどう変化するかを、今後の福祉社会を担う小・中・高校生を対象に、全国障害者スポーツ大会の前後にアンケート調査を実施することで明らかにしようとするものである。

全国障害者スポーツ大会では選手団（選手及び役員）に対するアンケート調査²⁻⁴⁾は実施されているが、大会を開催する地域住民に対するアンケート調査はあまり行われていない。この機会に今後の福祉社会を担う小・中・高校生の障害者スポーツに対する意識を調査することは、地域における障害者スポーツのさらなる啓蒙や普及を考える上で意義があると考えられた。

II 全国障害者スポーツ大会の概略

1 全国障害者スポーツ大会

日本の障害者スポーツ発展の大きな契機とな

ったのは、1964年東京オリンピックの後に開催されたパラリンピック東京大会であった。翌1965年には、国体開催県である岐阜県で身体障害者の社会参加推進を目的に第1回全国身体障害者スポーツ大会が開催され、以後毎年国体開催地で全国身体障害者スポーツ大会が実施されてきた。(1965年～2000年、36回開催)

一方、全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック」は、スペシャルオリンピックスの基本姿勢や東京ゆうあいピックの開催方式を踏襲した全国大会として「国連・障害者の十年(1983年～1992年)」の最終年に当たる1992年に東京都で第1回大会が開催され、以後都道府県持ち回りで開催されてきた。(1992年～2000年、9回開催)

2001年からは、この両大会が統合されて名実ともに国内最大の障害者スポーツの祭典となり、国体秋季大会直後に「全国障害者スポーツ大会」として開催されている。障害のある選手がスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進に寄与することを目的として行われている。

2 第3回全国障害者スポーツ大会

第3回全国障害者スポーツ大会（テーマ[愛称]「わかふじ大会」）は、2003年11月8日（土）～10日（月）に静岡県袋井市の小笠山総合運動公園エコパをメイン会場として実施された。

都道府県・指定都市の代表として選手3,289人、役員2,089人が参加し、陸上競技、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー等13競技が実施され、3日間延べ294,071人（概数）の観戦があった。⁵⁾

以下では、一般的に全国障害者スポーツ大会を示す場合に「全国障害者スポーツ大会」、第

3回全国障害者スポーツ大会を示す場合には「わかふじ大会」と表記する。

Ⅲ 研究方法

1 調査内容

全国障害者スポーツ大会の開催により障害者スポーツへの認知度や意識がどう変化するかを調査するために、障害者スポーツ大会の認知度、障害者スポーツとの関わり、障害者スポーツへの意識について調査票を作成した。大会前後で比較できるように、障害者スポーツ大会の認知度や障害者スポーツへの意識については大会前・後の調査票に同様の質問を取り入れた。
(資料1、2)

2 調査対象、方法

静岡県内の小学6年生、中学2年生、高校2年生を対象とした。県西部のわかふじ大会開催施設周辺校と県中・東部の学校から小学校11校、中学校9校、高等学校8校を選び、託送法、集団自記法で実施した。小・中学校は対象学年の全学級を対象とし、高等学校は対象学年のうち4～5学級を対象とした。(県教育委員会の指導により)

調査の依頼にあたっては、市町村教育委員会や県教育委員会を通して許可を得た後に各校長に承認を得た上で、校長宛公文書とともに持参または郵送で調査票を配布した。

3 調査期間

第Ⅰ期(わかふじ大会開催前)

2004年7月4日～7月18日

第Ⅱ期(わかふじ大会開催後)

2004年12月3日～12月17日

4 回収状況

託送法、集団自記法で実施したため、当日欠席者を除き回収することができた。

Ⅳ 結果

1 回答者の属性

有効回答者は、Ⅰ期(大会前)が3986名、Ⅱ期(大会後)が3977名であった。その属性は下表のとおりである。

Ⅰ期(大会前)	小6	中2	高2	計
男	540	789	585	1914
女	516	739	797	2052
計	1056	1528	1382	3966

男女不明 20名 計 3986名

Ⅱ期(大会後)	小6	中2	高2	計
男	542	799	588	1929
女	514	740	785	2039
計	1056	1539	1373	3968

男女不明 9名 計 3977名

2 障害者スポーツ大会の認知度

Ⅰ期(大会前)の調査において、パラリンピックについて「知っている」が69.1%、「聞いたことがある」が24.5%、「知らない」が6.4%であった。全国障害者スポーツ大会については、「知っている」が22.3%、「聞いたことがある」が34.6%、「知らない」が43.1%であった。Ⅱ期(大会後)の調査では、全国障害者スポーツ大会について「知っている」が42.1%、「聞いたことがある」が42.9%、「知らない」が15.0%であった。(図1)

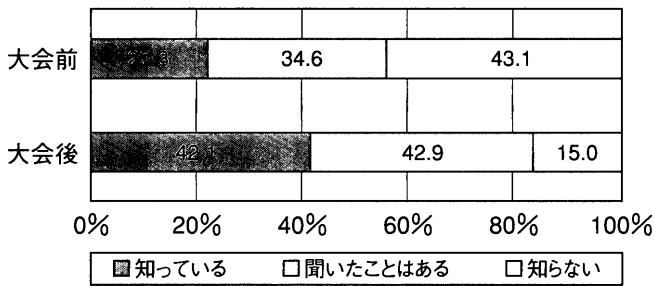


図1 「全国障害者スポーツ大会」を知っていますか

わかふじ大会が静岡県で行われることについては、Ⅰ期（大会前）の調査において「知っている」が4.2%、「聞いたことがある」が34.6%、「知らない」が43.1%であった。Ⅱ期（大会後）の調査では「知っている」が42.9%、「聞いたことがある」が42.9%、「知らない」が15.0%であった。（図2）

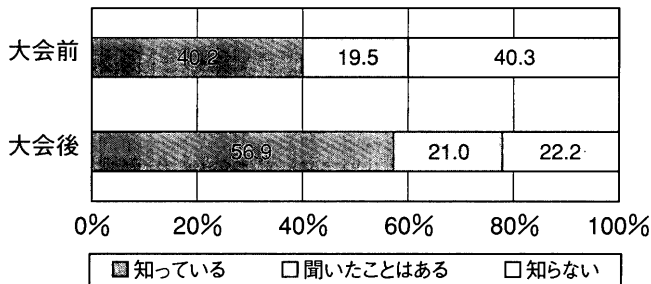


図2 わかふじ大会が静岡県で行われる(れた)こと

3 障害者スポーツとの関わり

Ⅰ期（大会前）の調査において、障害者がスポーツに参加している場面を「実際に見たことがある」と答えたのは7.7%、「テレビなどで見たことがある」が74.1%、「見たことがない」18.2%であった。（図3）

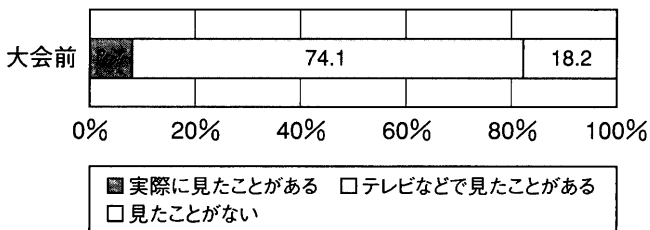


図3 障害者がスポーツに参加している場面を見たこと

実際にまたはテレビなどで見たことがあると答えた者が見た競技は、多い順にバスケットボール（2438人）、陸上（1767人）、水泳（1122人）、スキー（392人）、サッカー（288人）等であった。（図4）

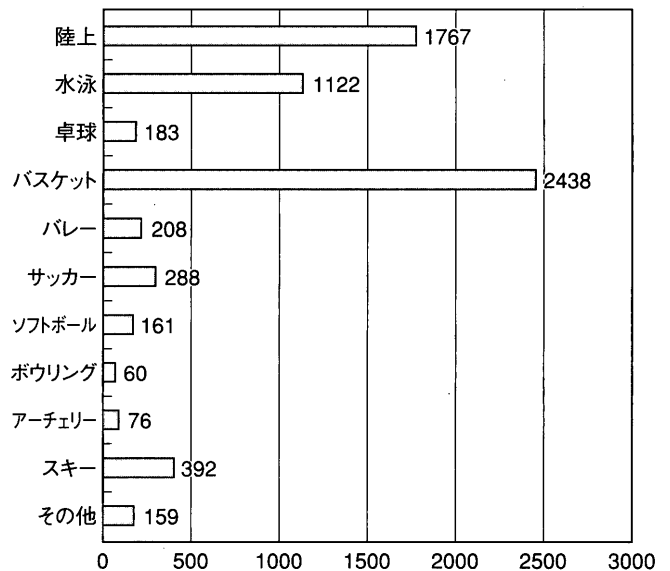


図4 見たことのある障害者スポーツ競技

Ⅱ期（大会後）の調査におけるわかふじ大会への関わり方では、実際に見たのは19.5%（式典に参加した256人、競技補助員34名、ボランティア45人、観戦439人の計774人）、テレビで見た22.9%、新聞で見た21.3%、見なかった55.3%であった。（図5）

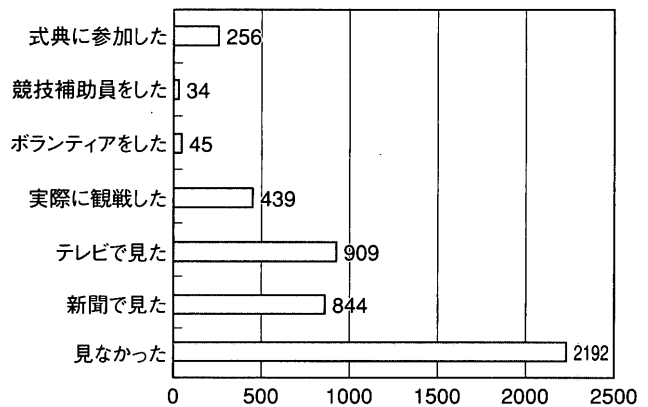


図5 わかふじ大会に関わったり、見たりしましたか (n=3961) 複数回答

実際に見たのは、多い順にバスケットボール(797人)、陸上(671人)、水泳(363人)、バレーボール(358人)、卓球(125人)等であった。(図6)

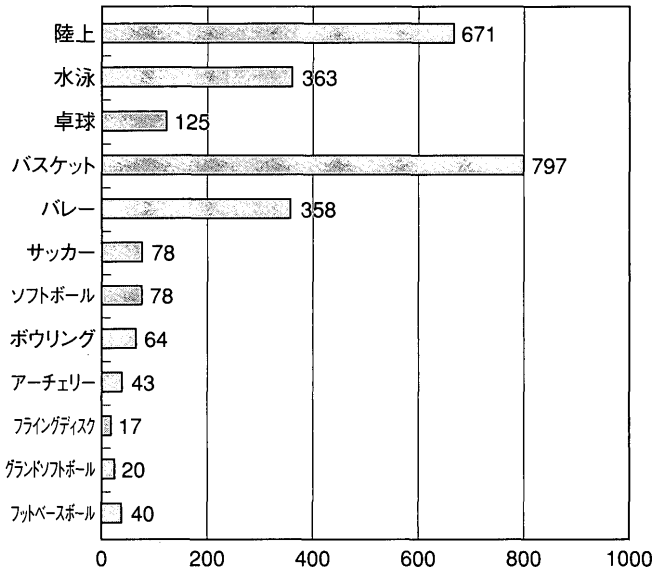


図6 わかふじ大会で見た競技

わかふじ大会に関わったり、見たりしたことを、「とても良かった」と答えたのは23.3%、「良かった」55.0%、「良くなかった」1.3%、「どちらともいえない」20.3%であった。(図7)

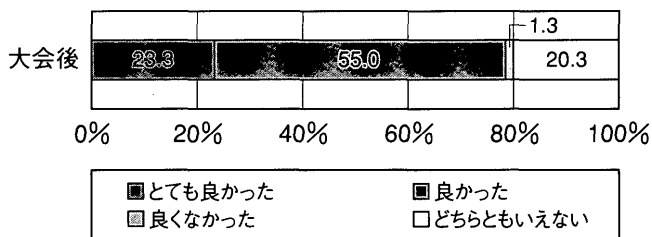


図7 大会に関わったり、見たりしてどうでしたか

4 障害者スポーツへの意識

障害者がスポーツに参加することについて、Ⅰ期(大会前)の調査においては「素晴らしいと思う」54.9%、「大変だと思う」35.2%、「あまり好ましいと思わない」1.3%、「わからない」7.0%

7.0%であった。Ⅱ期(大会後)の調査では、「素晴らしいと思う」59.8%、「大変だと思う」28.9%、「あまり好ましいと思わない」1.5%、「わからない」8.3%であった。(図8)

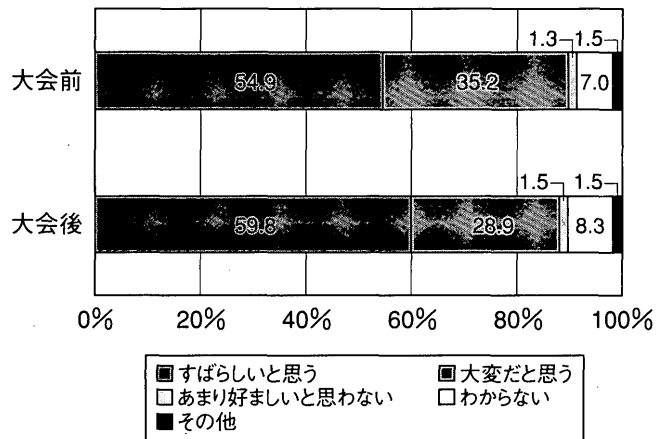


図8 障害者がスポーツに参加することをどう思いますか

障害者のスポーツへの興味については、Ⅰ期(大会前)の調査においては「興味がある」6.0%、「少し興味がある」39.5%、「あまり興味がない」42.5%、「全く興味がない」12.0%であった。Ⅱ期(大会後)の調査では、「興味がある」6.7%、「少し興味がある」40.1%、「あまり興味がない」41.7%、「全く興味がない」11.5%であった。(図9)

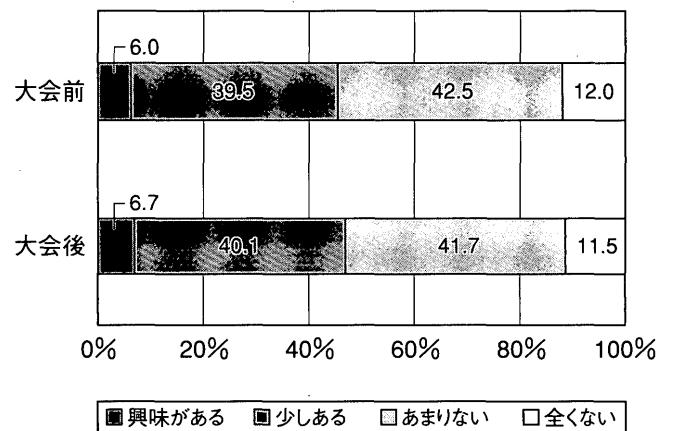


図9 障害者のスポーツに興味がありますか

障害者と一緒にスポーツに参加する機会があったら、参加したいかの問に対して、Ⅰ期（大会前）の調査においては「是非参加したい」8.7%、「参加してもいい」52.3%、「あまり参加したくない」31.4%、「絶対に参加したくない」7.6%であった。Ⅱ期（大会後）の調査では、「是非参加したい」10.0%、「参加してもいい」53.8%、「あまり参加したくない」28.8%、「絶対に参加したくない」7.4%であった。（図10）

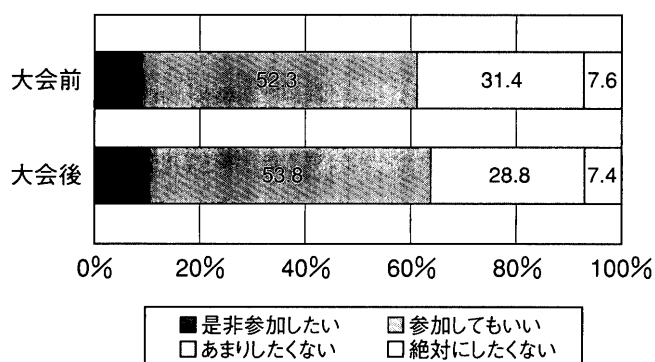


図10 障害者と一緒にスポーツに参加したいですか

障害を持つ人が困っているところに通りかかったらどうするかの問に対して、Ⅰ期（大会前）の調査においては「声をかける」26.8%、「気になって様子を見ている」51.1%、「気にはなるが特に何もしない」19.1%、「気にもせず通り過ぎる」2.9%であった。Ⅱ期（大会後）の調査では、「声をかける」23.7%、「気になって様子を見ている」50.4%、「気にはなるが特に何もしない」22.2%、「気にもせず通り過ぎる」3.7%であった。（図11）

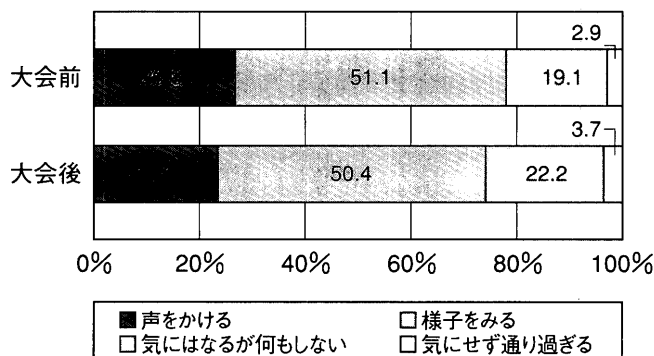


図11 障害をもつ人が困っているところに通りかかったら

V 考察

1 障害者スポーツ大会の認知度

大会前の調査において、パラリンピックに比べて全国障害者スポーツ大会は「知っている」「聞いたことがある」と答えた割合が少なく、認知度は低かった。大会後に全国障害者スポーツ大会を「知っている」と答えた割合は22.3%から42.1%に増加した。静岡県で大会が開催されたことで全国障害者スポーツ大会についての認知度が高まった。

静岡県が2003年2月に行った調査ではわかふじ大会の認知度は、中学生で22.2%、高校生で18.8%であり、成人県民の47.5%に比べかなり低い値であった。⁶⁾ この値と比較しても大会前（2003年7月）においては、わかふじ大会の認知度は40.2%と高まっていた。リハーサル大会が開催されたことや各種広報などによるものと思われる。

「全国障害者スポーツ大会」よりも第3回全国障害者スポーツ大会の愛称である「わかふじ大会」という言葉への認知度が高かった。これは直前に開催された国体と同じ愛称を使ったことも一因であると考えられた。

2 障害者スポーツとの関わり

大会前に障害者がスポーツに参加している場面を実際に見たことがあると答えたのは7.7%であった。日常生活において、障害者スポーツに接する機会がまだまだ少ないことが窺えた。その一方で74.1%がテレビなどで見たことがあると答えており、昨今パラリンピックがテレビ放映されたり、わかふじ大会のプレ大会等がニュースで放映されるなど、テレビ等で見る機会は増えていると考えられた。

わかふじ大会に実際に関わったり、見たりしたのは、調査対象の2割弱であった。テレビや新聞を含めても「見なかった」割合が55.3%であり、開催県となっても学校のプログラムとして参加や観戦したりしなければ見る機会にならないと考えられた。

わかふじ大会に関わったり、見たりした（テレビや新聞も含めて）者は、8割弱が「とても良かった」または「良かった」と答えていた。全国障害者スポーツ大会に関わったり、見たりすることは良い経験になるといえた。

3 障害者スポーツへの意識

わかふじ大会前後を比較すると、障害者がスポーツに参加することについて「素晴らしいと思う」が微増し、「大変だと思う」が減っていた。

障害者スポーツへの興味は「興味がある」「少し興味がある」が微増し、「あまり興味がない」「全く興味がない」が微減していた。

障害者と一緒にスポーツに「是非参加したい」「参加してもいい」が微増し、「あまり参加したくない」「絶対に参加したくない」は微減していた。

このように全国障害者スポーツ大会が開催されたことで障害者スポーツに対する意識は少し

高まる傾向がみられた。しかし、有意な差が認められるような結果は得られなかった。これは、実際に大会に関わったり見たりした者が調査対象の2割弱と限られていたこと、Ⅰ期調査前にもプレ大会等ですでに障害者スポーツへの関わりがあり意識が高められている者もいたことなどによると推察された。

4 大会への関与度による意識の差

前述したように調査対象全体で比較しても大きな差は見られなかったので、Ⅱ期（大会後）の調査においてわかふじ大会に関わったり見たりした者と見なかった者を比較した。Ⅱ期調査問6で「見なかった」に回答した者を見なかった群、それ以外（式典、競技補助、ボランティア、観戦、テレビ、新聞）を見た群とした。（図12、13）

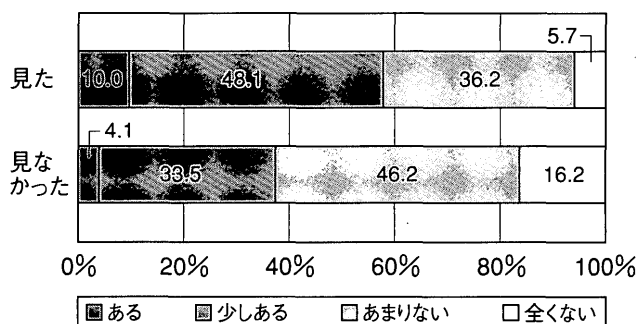


図12 障害者のスポーツに興味があるか(大会後) 大会を見た人と見なかった人の比較

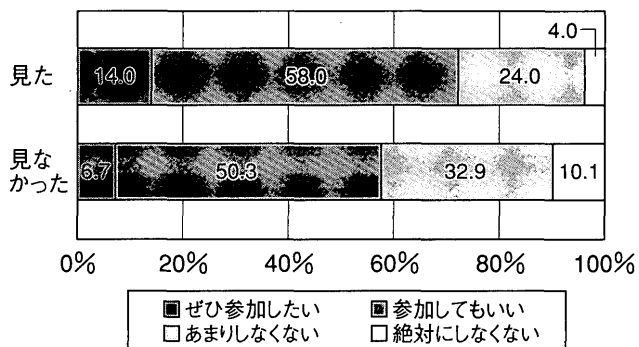


図13 障害者と一緒にスポーツに参加する機会があったら、参加したいですか(大会後) 大会を見た人と見なかった人の比較

その結果、わかふじ大会を見た者の方が見なかったものに比べて障害者スポーツに「興味がある」と答えた割合が多く、障害者と一緒にスポーツに参加する機会があったら「参加したい」と答えた割合が多かった。

このことから、全国障害者スポーツ大会に実際に関わったり、見たりすることで障害者スポーツへの興味・関心が高まると考えられた。大会関係者、学校教育関係者が大会の目的・意義を理解し最大限連携して、児童・生徒が大会に参加したり、観戦したり、興味をもてるよう努力していくことが必要であると考えられた。

Ⅵ おわりに

全国障害者スポーツ大会の開催により障害者スポーツへの認知度や興味がどう変化するかを明らかにするために、静岡県内の小・中・高校生を対象に、わかふじ大会の前後にアンケート調査を実施した。その結果、大会の開催により全国障害者スポーツ大会の認知度が高まった。実際に大会に関わったり見たりした者は調査対象の2割弱と限られていて、障害者スポーツへの興味は微増であった。大会を実際に見た者の方が興味・意識が高く、障害者スポーツへの理解を高めるためには実際に参加、観戦できるような関係者が努力していくことが必要である。

最後に調査にご協力いただいた児童・生徒及び関係者の皆様に感謝する。

参考文献

- 1) 静岡県生活文化部国体局・障害者スポーツ局『NEW!!わかふじ国体及びわかふじ大会に係るアンケート調査結果』2003
この調査において、成人の「NEW!!わかふじ国体」の認知度が92.5%に対して、『わかふじ大会』は47.5%であった。
- 2) 小玉一彦他『第1回全国障害者スポーツ大会開催に関する調査報告書』2002
- 3) 第2回全国障害者スポーツ大会高知県実行委員会『第2回全国障害者スポーツ大会「よさこいピック高知」アンケート調査結果報告書』2003
- 4) 第3回全国障害者スポーツ大会実行委員会『第3回全国障害者スポーツ大会「わかふじ大会」アンケート調査結果報告書』2004
—この調査の分析、報告書作成は著者（石塚、和久田）が県実行委員会の委託を受けて行った。
- 5) 第3回全国障害者スポーツ大会実行委員会『第3回全国障害者スポーツ大会報告書』2004
- 6) 前掲1)

<資料1 I期調査票>

障害者スポーツに関するアンケート調査

聖隷クリストファー大学社会福祉学部

この調査は、障害者スポーツを多くの人に知ってもらうために実施するものであり、個人の回答が公表されることはありません。あてはまる回答の数字を○でかこんでください。

あなたについて教えてください。

問1 性別 1 男 2 女

問2 学年 1 小6 2 中2 3 高2

問3 学校名 () 小学校・中学校・高校

問4 「パラリンピック」を知っていますか。

1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問5 「全国障害者スポーツ大会」を知っていますか。

1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問6 今年11月に、第3回全国障害者スポーツ大会（わかふじ大会）が、静岡県で行われることを知っていますか。

1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問7 障害者がスポーツに参加している場面を見たことがありますか。

1 実際に見たことがある 2 テレビなどで見たことがある 3 見たことがない
(→問9へ)

問8 [問7で「1実際に見たことがある」、「2テレビなどで見たことがある」と答えた方へ]
見たことがあるのは、何の競技ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 陸上 2 水泳 3 卓球 4 バasketボール 5 バレーボール
6 サッカー 7 ソフトボール 8 ボウリング 9 アーチェリー 10 スキー
11 その他 ()

問9 障害者がスポーツに参加することをどう思いますか。

1 すばらしいと思う 2 大変だと思う 3 あまり好ましいと思わない
4 わからない 5 その他 ()

問10 あなたは、障害者のスポーツに興味がありますか。

1 興味がある 2 少し興味がある 3 あまり興味がない 4 全く興味がない

問11 障害者と一緒にスポーツに参加する機会があったら、参加したいですか。

1 ぜひ参加したい 2 参加してもいい 3 あまり参加したくない
4 絶対に参加したくない

問12 障害をもつ人が困っているところに通りかかったら、あなたはどうしますか。

1 声をかける 2 気になって様子を見ている 3 気にはなるが特に何もしない
4 気にもせず通り過ぎる

ご協力ありがとうございました。

<資料2 II期調査票>

障害者スポーツに関するアンケート調査(2)

聖隷クリストファー大学社会福祉学部

この調査は、障害者スポーツを多くの人に知ってもらうために実施するものであり、個人の回答が公表されることはありません。あてはまる回答の数字を○でかこんでください。

あなたについて教えてください。

問1 性別 1 男 2 女 問2 学年 1 小6 2 中2 3 高2
問3 学校名 () 小学校・中学校・高校

問4 「全国障害者スポーツ大会」を知っていますか。
1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問5 11月8-10日に、第3回全国障害者スポーツ大会(わかふじ大会)が、静岡県で行われたことを知っていますか。
1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問6 第3回全国障害者スポーツ大会(わかふじ大会)にかかわったり、見たりしましたか。(あてはまるものすべてに○)
1 式典(開会式、開始式、閉会式)に参加した 2 競技補助員をした
3 ボランティアをした 4 実際に観戦した 5 テレビで見た 6 新聞で見た
7 見なかった(→問9へ)

問7 [問6で関わったり、見たりした(1-6のどれかへ○)と答えた方へ]
見たのは、何の競技ですか。(あてはまるものすべてに○)
1 陸上 2 水泳 3 卓球 4 バasketボール 5 パレーボール
6 サッカー 7 ソフトボール 8 ボウリング 9 アーチェリー
10 フライイングディスク 11 グランドソフトボール 12 フットベースボール

問8 第3回全国障害者スポーツ大会(わかふじ大会)に関わったり、見たりすることができ、どうでしたか。
1 とても良かった 2 良かった 3 良くなかった 4 どちらともいえない

問9 障害者がスポーツに参加することをどう思いますか。
1 すばらしいと思う 2 大変だと思う 3 あまり好ましいと思わない
4 わからない 5 その他()

問10 あなたは、障害者のスポーツに興味がありますか。
1 興味がある 2 少し興味がある 3 あまり興味がない 4 全く興味がない

問11 障害者と一緒にスポーツに参加する機会があったら、参加したいですか。
1 ぜひ参加したい 2 参加してもいい 3 あまり参加したくない
4 絶対に参加したくない

問12 障害をもつ人が困っているところに通りかかったら、あなたはどうしますか。
1 声をかける 2 気になって様子を見ている 3 気にはなるが特に何もしない
4 気にもせず通り過ぎる

ご協力ありがとうございました。